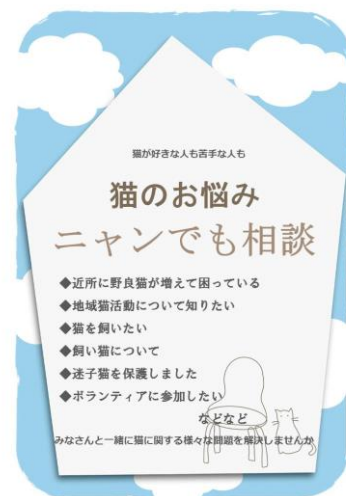


地域猫活動

◆事業の目的・背景

あまり表に出ていない小さな問題ですが、飼い主のいない猫に関する苦情や相談が多くある。そこで飼い主のいない猫を今以上に増やさず一代限りの命として適正に管理し、不妊・去勢手術を行い、不幸な猫の繁殖を防ぎ、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことを目的とし、野良猫の迷惑問題と動物愛護の両立を目指す。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
平成30年	・TNR（Trap Neuter Returnの頭文字をとった言葉で、猫の捕獲→不妊・去勢手術→元の地域に戻す活動）の実施	324,600円
令和元年（実施中）	・TNR（Trap Neuter Returnの頭文字をとった言葉で、猫の捕獲→不妊・去勢手術→元の地域に戻す活動）の実施	400,000円

◆事業成果

- ・H30年度末現在、オス8頭、メス13頭の不妊・去勢手術をすることができた。
- ・H30年度末現在、子猫オス6頭、メス5頭の譲渡をすることができた。
- ・地域猫活動のPRとして、野良猫や飼い猫の保護のやり方や猫の悩み相談を受ける「猫なんでも相談」を3回開催。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・交通量の増加で、手術をしても事故にあってしまい、猫やその他の生き物にとって生きにくい環境になったと思う。
- ・今後は、活動経験のある団体や個人と協力し地域猫活動の啓発、周知を行う。また、子猫や飼い猫を捨てる破棄＝犯罪ということも周知する必要がある。
- ・捕獲畏によりケガをする猫が活動前より増えてしまったため、とらばさみ、落とし穴など使用禁止等の説明が必要。